

令和4年第7回定例会 一般質問日程一覧

- ※ 一般質問の持ち時間は、議員一人当たり40分です（答弁は含めません）。
- ※ 一日の質問者数は4人です。
- ※ 各日の一般質問は午前10時から行います。
- ※ 一日の質問者数は決まっていますが、質問及び答弁内容により時間の長短が生じますので各日の2番目以降の質問者の質問開始時刻は特定できません。

質問順位	質問日	質問者
1	9月6日（火）	松本岳史君
2		村上光江さん
3		山本育子さん
4		森本宏子さん
5	9月7日（水）	小泉馨君
6		河崎美都さん
7		藤原仁子さん
8		下方一志君
9	9月8日（木）	細川健一君
10		浜秋太郎君
11		三宅宅三君
12		松田達雄君
13	9月9日（金）	有元純一君
14		渚洋一君
15		宇野俊市君

- ※ 質問者及び質問項目は、次頁以降の「一般質問日程表」のとおりとなります。

一般質問日程表（令和4年9月6日から開始）

[質問順位は通告順]

1. 松本岳史君（市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- (1) 玉野市行財政改革の継承と改革について
- (2) 教育委員会について
- (3) 市民センター・公民館機能について

2. 村上光江さん（市長、関係部長の答弁要求）

- (1) 市民の命を守るためのAED利用方法について
- (2) 誰でもが投票の機会を確保するために
- (3) 空き家の現状と今後の対策について

3. 山本育子さん（市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- (1) 平和な未来の実現に向けて
- (2) 生命を守る災害対策
- (3) トイレの整備
- (4) 市民センターの活用とデジタル社会の実現

4. 森 本 宏 子 さん （市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- (1) 「デジタル化推進」の取り組みについて
- (2) 「行政の取り組み、課題」について
- (3) 「未来の宝の子どもたちの教育」について

5. 小 泉 馨 君 （市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- (1) 小・中学校の統廃合問題について
- (2) 自主防災組織について

6. 河 崎 美 都 さん （市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- (1) 玉野医療センターに産科を新設する件について
- (2) 新市民会館の建設について
- (3) 玉野市の人口増加対策について
- (4) 市民センターの機能復活について
- (5) コロナから高齢者の生命を守ることに関連して
- (6) この不透明な時代に対する考え方について

7. 藤原仁子さん (市長、教育長、関係部長の答弁要求)

- (1) 玉野の福祉について
- (2) 新競輪場について
- (3) 玉野の教育について

8. 下方一志君 (市長、教育長、関係部長の答弁要求)

- (1) 令和3年度財政について
- (2) 玉野市重点施策提案書について
- (3) 市立学校適正規模化について
- (4) 農業・漁業者について
- (5) 八浜町内の空き家について
- (6) ピースロードについて

9. 細川健一君 (市長、教育長、関係部長の答弁要求)

- (1) 教育行政について
- (2) 子育て支援について
- (3) 旧統一協会関連団体と市とのかかわりについて
- (4) 「国葬」問題について

10. 浜 秋 太 郎 君 （市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- （1）介護保険事業について
- （2）上下水道事業について
- （3）教育行政について
- （4）新型コロナ対策について

11. 三 宅 宅 三 君 （市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- （1）小中学校の適正規模化（統廃合計画）を進めることにより地域の学校が消える！問題について
- （2）線引都市計画区域、線引・見直しについて
- （3）農地の耕作放棄地と荒廃農地対策について

12. 松 田 達 雄 君 （市長、関係部長の答弁要求）

- （1）新型コロナ対策について
- （2）誤った「行革」方針で真っ先に住民犠牲を強いた市民センター機能縮小—窓口業務・支所機能を再開し、福祉・防災・地域活性化の拠点施設に再生を
- （3）イノシシ対策の強化について

13. 有 元 純 一 君 （市長、教育長、関係部長の答弁要求）

- （1）「元気な郷土“たまの”を取り戻すには」について
- （2）「安全・安心な街づくりに必要なポイント」について

14. 渚 洋 一 君 (市長、教育長、関係部長の答弁要求)

- (1) 「玉野市の諸課題」について
- (2) 「教育行政」について
- (3) 「空き家対策」について
- (4) 「A型事業所」について
- (5) 「市の諸課題」について

15. 宇 野 俊 市 君 (市長、教育長、関係部長の答弁要求)

シリーズ 子どもにツケをまわさない！

- (1) 玉野市の財政診断 小西砂千夫教授のリモート研修受講を元に質問します。
- (2) 人口減は国を滅ぼす 古い家族観を見直せ
 - ①2030年以降、若者が急減し国家的危機に
 - ②抜本的な制度見直しと、子育て支援を行え
 - ③高齢者の課題解決と、若い世代マッチングができないか？
- (3) 雇用の「第4の波 (コンピューターの能力が人間を追い越す)」を読み解く